

寒河江市 学校施設整備計画改定(案) 説明会

寒河江市教育委員会
学校教育課学校再編整備室
〔令和5年10月〕

学校施設整備計画改定にあたり

- 令和4年3月に学校施設整備計画を策定。
- 昨年1年間、計画の説明を行った。
- 各種説明会（計39回）でご意見をいただく。
 - ・小学校の2段階統合は、子ども保護者共に負担が大きい。
 - ・小・中学校の統廃合による地域の力の衰退の懸念。
 - ・中学校の規模の大きさへの不安。等

学校施設整備計画改定にあたり

- 市報・ホームページによる情報提供
- 外部有識者会議（専門家の視点）の開催（全3回）
- 教育講演会の開催（7/29,参加者130名）
 - 「みんなでつくるみんなの学校」
 - 東洋大学名誉教授 長澤悟氏
- 庁内調整会議で多くの視点で検討

学校施設整備計画ロードマップ

	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15	令和16	令和17	令和18	令和19	令和20	令和21	令和22	令和23
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
寒河江小										<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 新校舎を建設し統合することを検討 ※1 新校舎を建設し統合することを検討 </div>										
南部小																				
寒河江中部小																				
柴橋小																				
西根小										<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 統合（西根小学校校舎を活用） 測量設計解体 建設 陵東中学校跡地に新校舎を建設し統合 </div>										
三泉小																				
高松小																				
醍醐小																				
白岩小																				
陵南中										<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 用地選定 用地買収 用地造成 測量設計 建設 新校舎を建設 </div>										
陵東中																				
陵西中																				

※1：児童数の動態や社会情勢の変化により、寒河江小学校を陵東中学校跡地の新校舎への統合、南部小学校を寒河江中部小学校と柴橋小学校の統合校へ統合することも検討していく。

学校施設整備計画改定（案）ロードマップ

	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15	令和16	令和17	令和18	令和19	令和20	令和21	令和22	令和23	
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	
寒河江小										学校の適正配置について検討を行う											
南部小																					
寒河江中部小																					
柴橋小																					
西根小												測量設計	建設	陵東中学校跡地に新校舎を建設し統合							
三泉小																					
高松小																					
醍醐小										測量設計	建設	高松小敷地内に新校舎を建設し統合									
白岩小																					
陵南中			用地選定 用地買収 用地造成																		
陵東中																					
陵西中																					

学校施設整備計画改定（案）のポイント

①小学校の2段階統合を見直す。

- 令和15年度に高松小と醍醐小と白岩小を統合する。
- 令和18年度に西根小と三泉小を統合する。

②西部地区の拠点となる小学校を1校整備する。

- 高松小と醍醐小と白岩小を高松小敷地内に校舎を新築し、統合する。

③中学校の統合時期を令和10年から令和12年に見直す。

- 今後、用地選定、用地買収、用地造成に取り組むので、令和12年度の統合予定とする。

①小学校の2段階統合について

- 現計画は令和8年度と令和14年度の2段階。児童生徒や保護者の負担を考慮。

⇒ **2段階の統合は行わない。**

〔中学校統合後に小学校を統合〕

- 令和15年度に高松小、醍醐小、白岩小の統合。
- 令和18年度に西根小、三泉小の統合。

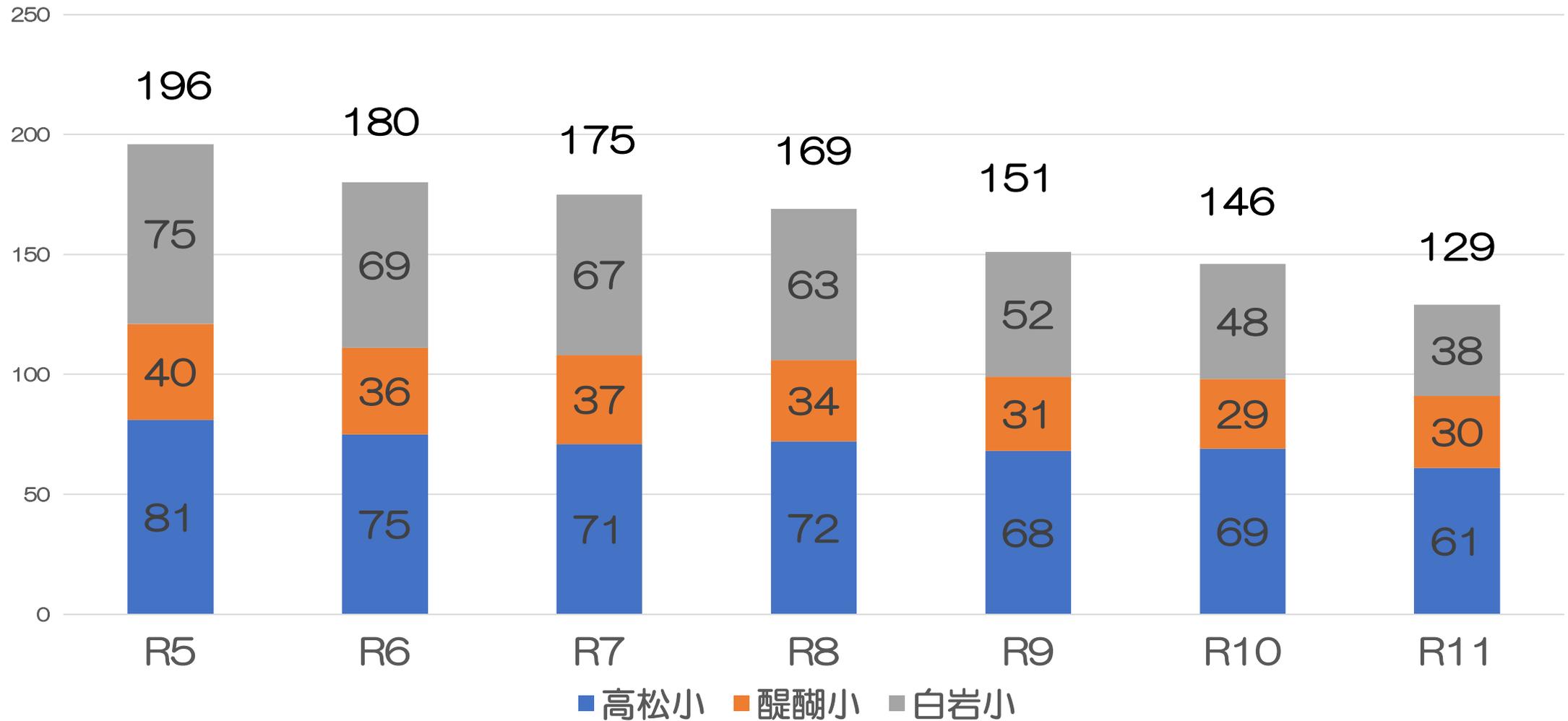
* 複式学級の解消は現計画より遅くなる。

⇒ 教職員の研修等を実施し指導力向上を図る。

②西部地区の拠点となる小学校を1校整備することについて

- 小学生の発達段階や地域とのつながり、まちづくりの観点、地域バランス等を考慮。
- 令和15年度を目途に、高松小の敷地に統合小学校を建設。
- スクールバスでの登下校を検討。
- 楯岡特別支援学校寒河江校については、山形県教育委員会と協議。

西部地区の児童数の推移



③中学校の統合時期を令和10年から令和12年に 見直すことについて

- 現在の陵東中学校、陵南中学校、陵西中学校の3校を1校に統合する。

【中学校の統合時期を令和12年度に変更】

- 用地選定、用地買収、用地造成等に必要な期間。
- 子どもたちにとってよりよい施設の検討期間。
- 統合に向けての準備期間。
(校名、校章、校歌、制服、教育課程等の検討)

これまでの説明会での中学校 1 校案・2 校案へのご意見

- 1 校で、資源を集中し、最新の教育環境の下で学ばせたいので賛成。
- 1 校にして、他市町からも人が来るような、すごくいい学校を作ってほしい。
- 1 校案の大きな学校だといろいろな人との出会いが期待でき、成長できる。
- 1 校案だと、部活動の数が増え、選択肢が増えるので賛成。
- 2 校案は財政面で大変。その負担が将来を担う子どもたちになるのは不安。

- 1 校だと、子どもたちに目が行き届かなくなるので、いじめや不登校が多くなりそうなので2校のほうがいい。
- 1 校案では、行事などする時に、人が多くて大変ではないか。
- 1 校案で、1000人規模の学校にする必要性がわからないので反対。
- スクールバスがあっても、冬場は渋滞の原因になるので1校案には反対。
- 2校案だと、様々な活動や部活動等で、競い合い、向上心を促すことができるので賛成。
- 中学校3年時の統合は、修学旅行や受験があり不安を感じる。
- リスク回避の面からも2校にすべきだ。

中学校を1校に統合する理由①

- 切磋琢磨できる環境と社会性の育成の面から
 - 授業や様々な活動の中で切磋琢磨できる。
 - 学校行事等がダイナミックに展開でき、より教育的効果が期待できる。
 - 互いに刺激を受け、社会性や協調性が育成されやすい。
 - 人間関係に配慮した学級編制も可能となる。

中学校を1校に統合する理由②

○充実した教育環境の中で多様な選択肢が可能となること及び地域を考える視点の拡大の面から。

- 教育資源を1つに集中。優良な教育環境の構築。
- 部活動や各種委員会活動等での選択肢の増加。
- 市全体が学区となることから、視野が広がり、寒河江市の理解と今後を考える視点、郷土愛の醸成の面からも効果的。

中学校を1校に統合する理由③

○教員数の増加とバランスのとれた教職員の配置の面から

- 配置される教職員数の増加。
- 経験年数、専門性、男女比等バランスのとれた教員配置。
- 各教科の専門教員の増加。各教科の研修機会の増加。
- 授業の質が向上、学力の向上を期待。
- 生徒数が300人を下回り各学年3学級になると、国語、数学、英語等の教員数は2名程度となる。
- 校務分掌の分散。授業の準備への注力。
- 様々な面から生徒理解が進み、チームとしての指導体制の構築がしやすくなる。

中学校を1校に統合する理由④

○今後の生徒数の推移の面から

- 全体的な生徒数の減少。

（令和17年度の1年生は242名の見込み）

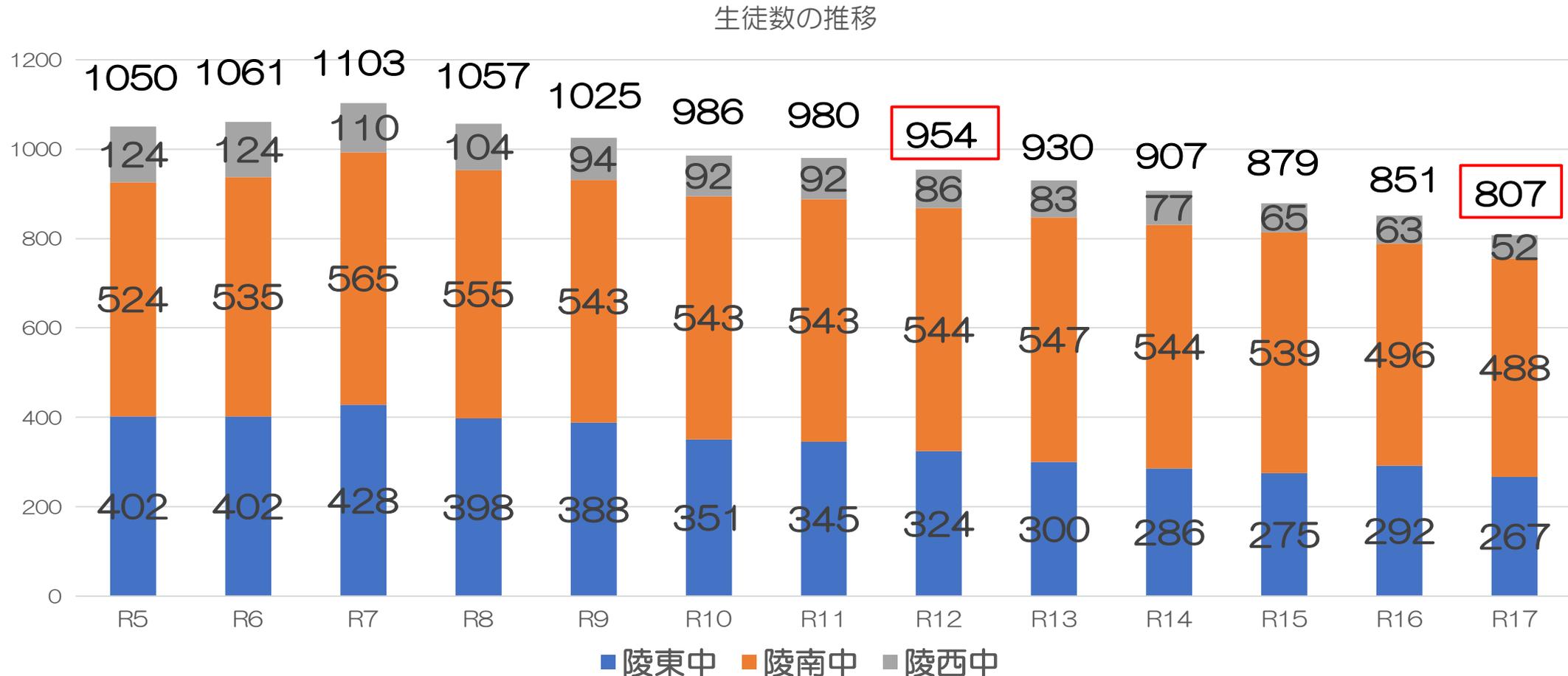
- 2校とした場合、陵東中と陵西中の統合校の生徒数の減少の割合が大きい。

（令和17年度の生徒数は319名の見込み）

- 10年後や20年後をも想定した生徒数の不均衡の解消。
- 安定した教育環境の構築。

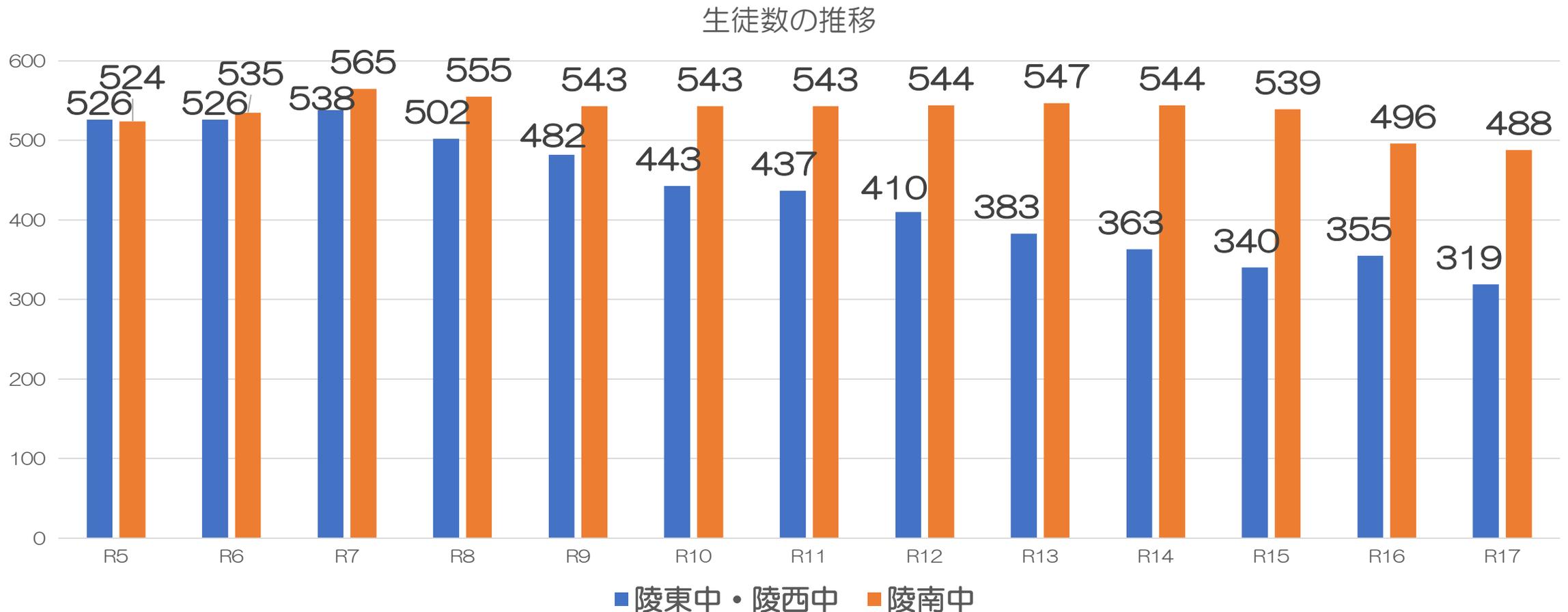
中学校が1校になる場合の生徒数の推移

• 生徒数の推移（1校の場合）



中学校が2校になる場合の生徒数の推移

- 生徒数の推移（2校の場合）



公立学校施設整備の国庫補助事業について

事業名	負担（算定） 割合	事業の内容
新增築	1 / 2	校舎、屋内運動場等の新增築（教室不足の解消、学校統合）
その他	1 / 3	屋外環境（グラウンド等）など
大規模 改造	1 / 3	老朽化に伴う補修等、既存の学校建物の改修（トイレ改修、空調設置など）

中学校を1校の場合の財源について

約 75 億円の内訳

校舎・屋内運動場・ 屋外運動場など (国庫補助対象)	約 62 億円
その他 (国庫補助対象外)	約 13 億円
合計	約 75 億円

国負担約 50 億円の内訳

負担金・補助金	約 30 億円
交付税措置※	約 20 億円
合計	約 50 億円

市負担約 25 億円の内訳

国庫補助対象の 市負担分	約 12 億円
国庫補助対象外	約 13 億円
合計	約 25 億円

※この積算は、比較のための現段階の試算であり、近年に建設された学校の建設費等を参考に計算したものです。実際の建設費等は、物価上昇などの影響により変動する可能性があります。

中学校2校の場合の財源について

陵東中・陵西中の統合校の建設 約 40 億円

校舎・屋内運動場・ 屋外運動場など (国庫補助対象)	約 40 億円
合計	約 40 億円

国負担約 30 億円の内訳

負担金・補助金	約 18 億円
交付税措置※	約 12 億円
合計	約 30 億円

陵南中の建替え 約 60 億円

校舎・屋内運動場・ 屋外運動場など (国庫補助対象外)	約 60 億円
合計	約 60 億円

市負担約 70 億円の内訳

国庫補助対象の 市負担分	約 10 億円
国庫補助対象外	約 60 億円
合計	約 70 億円

※この積算は、比較のための現段階の試算であり、近年に建設された学校の建設費等を参考に計算したものです。実際の建設費等は、物価上昇などの影響により変動する可能性があります。

学校の跡地利用について

学校名	活用を検討する施設名（案）
醍醐小	山形県立楯岡特別支援学校寒河江校移転先候補
白岩小	今後、検討していく。
陵西中	今後、検討していく。
西根小	今後、検討していく。
三泉小	今後、検討していく。
陵東中	西根小・三泉小の統合小学校建設予定地
陵南中	今後、検討していく。

現在の跡地利用について

- 田代小の事例

平成25年3月に閉校。白岩小学校に統合。

リノベーションを経て、平成29年に学びの里TASSHO（たっしょ）を開設。学校行事などで活用。

- 幸生小の事例

令和3年3月に閉校。白岩小学校に統合。

校舎は、さがえ少年少女発明クラブの活動や、体育館はスケートボードの屋内施設として活用。

不登校について

- 全国的に不登校の生徒が増えている傾向
- 要因の1つに学習面でのつまづき
 - ・より分かりやすい授業。教師の授業に対する考え方。
- ストレスの軽減
 - ・校舎を工夫し、ストレス軽減を図る。
 - ・不登校児童生徒が教室以外で学習できる場の設置。
- 教員の数の増加を長所として生かす。
 - ・教員間の連携。 ・特別支援コーディネーター
- 寒陵スクールとの連携

いじめについて

○いじめ防止基本方針を設定。

- ・「学校いじめ対策組織」の設置

○いじめアンケート調査による実態把握。

- ・積極的ないじめの認知。解消率を高める。

○教員同士の情報交換。児童生徒の情報を共有。

○道徳教育、人権教育の充実。

○自己肯定感や共感的人間関係を育む体験活動の充実。

○学校建築の際にストレス軽減を考慮。居場所の創出。

通学について

〔国の基準〕

通学距離は小学校は4km、中学校は6km以内を、通学時間は1時間以内を目安とする。

- 通学距離や時間、登下校の安全性等を考慮し、スクールバス等の通学を検討。
- 冬季間は、通学困難な児童生徒が増えることを想定し、スクールバス等の適用範囲を広げることとも検討。

放課後児童クラブについて

放課後児童クラブの設置状況

小学校学区	校内	校外
寒河江小		1
寒河江中部小		7
南部小		2
西根小	2	1
柴橋小		1
高松小	1	
白岩小	1	
三泉小	1	
醍醐小	1	

学校施設整備計画改定後について

○（仮）統合準備委員会 などの立ち上げ

- メンバー 保護者、地域の代表（町会長）、教員、教育委員会 等。
- 検討事項 校名、校歌、校章、制服、地域の特色、スクールバスの運用など。

※内容については、児童・生徒の声も十分に聞きながら検討をしていく。

学校施設整備計画改定後について

- 統合予定の学校の教育課程の検討
 - 統合予定の学校同士の交流。統合前の数年間。
 - 生活科や総合的な学習の時間の調整
 - 地域の学習、伝統芸能についてのテーマ
 - 宿泊学習や修学旅行の合同開催の検討
 - 生徒会執行部の編制の検討。
 - 具体的な部活動の検討と部活動数の調整。

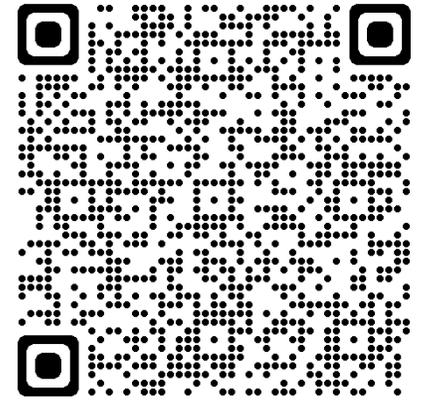
計画改定の策定までの流れ

- 9月28日～10月27日 パブリックコメント
- 10月3日～10月14日 説明会の実施
- 11月 8日 総合教育会議で最終案の検討
- 11月21日 議員懇談会で最終案の説明
- 12月 教育委員会で議決
学校施設整備計画改定を策定

パブリックコメント

- 期間：9月28日～10月27日
- 下記アドレスまたは、右のQRコードより

<https://www.city.sagae.yamagata.jp/shisei/keikaku/public/publicichiran/gakko ukeikakupabuko.html>



説明会日程

	月日	時間	会場
1	10月 3日(火)	19:00~20:30	西部地区公民館
2	10月 4日(水)	19:00~20:30	文化センター
3	10月11日(水)	19:00~20:30	この木交流センター
4	10月13日(金)	19:00~20:30	南部小学校
5	10月14日(土)	13:30~15:00	ハートフルセンター